

I Love Churui

I ♥ ちゅうるい

9

2018 Vol. 519



平成30年度コントラクター事業によるデントコーン収穫作業が9月25日から開始されました。



<http://www.ja-churui.com>

Contents

コントラクター事業2番牧草収穫終了!	2
ベジタ秋の大収穫祭	3
JA酪農部会酪農女性視察研修	
よつ葉ミルクフェスタ2018	4
普及センター技術情報	5
生乳生産状況表	6



コントラクター事業一 二番牧草収穫作業終了

コントラクター事業による今年度の二番牧草収穫作業が八月二十日より開始し、九月二十日に無事終了しました。

昨年比べ今年度は天候不順の影響もあり、ダンブが走行できない圃場が多く収穫作業が大幅に遅れましたが、1,576町を無事に収穫することができました。

また、一番牧草、二番牧草収穫作業が終わり九月二十五日よりデントコーン収穫作業が始まりま



す。

デントコーン収穫は約876町の面積となっており、好天に恵まれることを期待したいです。

また、利用者の皆様におかれましては収穫作業中は大変お疲れ様でした。

コントラクター事業では牧草、コーン収穫の他、堆肥散布や尿散布、堆肥切り返し等も行っておりますので組合員の皆様のご利用をお待ちしております。

ストップ！ 農作業事故

畜産作業の安全

人間工学専門家 ● 石川 文武

畜産は作業上、飼料生産作業、飼養管理作業に分けられ、対象とする動物は、牛、豚、鶏などが挙げられます。肉牛、乳牛を念頭に置いて作業安全を考えましょう。

飼料生産作業では、大型の機械が導入されており、畜産農家自らが飼料生産作業を行う場合と、コントラクターが作業を行う場合がありま

す。事故情報の多い作業は堆肥管理、牧草収穫・調製です。堆肥の切り返しなどでの転倒と、機械との接触などで、打撲やフォークを足に刺すなどです。モーターやフォアレージハーベスターでの収穫作業では、詰まり除去時のエンジン停止の怠りによる挟まれや伴走車との接触がとも多くなっています。また、ロールベールのハンドリングで荷崩れ、下敷きなどが多くなっています。

基本を守って

いれば事故は起きにくいのですが、雨が予想されて時間的に焦っていたり、共同業者とのコミュニケーション不足が原因となって発生しています。



飼養管理作業では、畜舎内の衛生管理が重要ですが、ボロ出し時の転倒やベルト・プリーへの巻き込まれがよく発生しています。床面の清掃だけでなく、照明や換気も適切に管理することが必要です。牛は大きく重いので、牛との良好なコミュニケーションを保つとともに、不測の行動に備えておく必要があります。角で突かれたり、足で蹴られたり、頭を急に振って綱を絡ませたりします。予測しておけば対応できますが、予測しない刺激が牛に加わったときは思わぬ挙動をすることを忘れてはいけません。出産直後の牛は興奮しているので普段以上の緊張感が必要です。飼育頭数の増加によって、作業時間も増えがちですが、適正な労働力配分を心掛けましょう。

豚は、きれい好きです。畜舎内が汚れないように小まめな清掃が必要です。鶏は、採卵用では、工場のようになっていますが、羽毛やふんなどが浮遊していることが多いので、換気を継続して行いましょう。

菜の館ベジタ 秋の収穫祭開催！

J A 忠類農畜産物直売所「菜の館」が平成三十年九月二十三日（日）に秋の大収穫祭を実施致しました。

今回の大収穫祭では、和牛農家の坂井栄二さんによる「さかえ和牛」のフランクフルトやハンバーグ販売の他、山下農場、芹澤農場、村田農場、長谷川農場の方々に出品、野菜販売をしていただきました。



また、「ランチョ・エルパソ」によるミートソーススパゲティや「ガレッジカフェ」によるオムレツの販売、「おいもさん」による大学いもの販売をして頂き、大盛況となりました。

今年度の営業は十一月十一日までとなっております、最終日にはイベントを開催する予定となっております。

沢山のお客様のご来場お待ちしております。

J A 酪農部会 酪農女性視察研修

平成三十年八月二十日、J A 忠類酪農部会（渡邊靖之部会長）は酪農女性視察研修を実施致しました。

本年度は、十九名が参加しJ A 幕別町の野菜選果施設と池田ワイン城を視察して参りました。

J A 幕別町の野菜選果施設では、大根と人参の選果が行われており、野菜を洗い、規格外品を取り除き箱詰めされるまでの作業の様子や、保冷库の見学をさせてい



ただきました。普段なかなか見ることのない作業の様子に皆さん興味津々で、担当者の方に熱心に質問されていました。

その後、池田ワイン城に移動しバイキングを楽しんだ後、ワイン城のガイドツアーに参加し、ワインの製造過程の説明を聞いたり、地下熟成室やブドウ畑の見学をしてきました。

今回視察研修にご参加頂いた会員の皆さま、大変お疲れ様でした。



牛乳・乳製品の消費拡大 よつ葉ミルクフェスタ2018開催!

「よつ葉ミルクフェスタ2018（十勝主管工場開放DAY）」が九月十五日、音更町よつ葉乳業十勝主管工場イベント会場にて開催されました。

このイベントはよつ葉乳業と、同社へ出荷している十二農協で構成される十勝主管工場運営協力会の主催で牛乳、乳製品のPR消費拡大と管内集乳地域



との連携強化を目的に実施し、今年是好天の下一万人超える来場者数となりました。

午前十時より、牛乳・乳製品等の販売と、出荷農協による地場産の販売が開始され、例年にならない二十五℃を超える好天で会場には大勢の家族連れなどが訪れ、大いに賑わいました。

会場には子供向けのふわふわドームや搾乳疑似体験コーナー

が設置される他、管内の各高校によるステージイベントも実施、又、工場内の見学も盛況でした。

当JAからは、「ゆり根」の販売と、忠類産さかえ和牛のハンバーグとフランクフルトが実演販売され『おいしい』と好評でありました。

農協だより6月号3Pに記載しておりました平成30年度幕別町畜産祭りの成績ですが、一部誤りがありましたことを深くお詫び致します。正しくは下記成績となります。

第18部（雌未經産10ヶ月以上15ヶ月未満）

→3等 えび29の33 ファーストリングアップ 姥

第19部（雌未經産15ヶ月以上）

→1等1席準最高位 えび29の1 ファーストリングアップ 姥

第20部（経産牛）

→3等 えび25の9 ファーストリングアップ 姥

～年金受取口座を指定されている方へ～

拝啓 すがすがしい秋風の吹く頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

平素は年金のお受け取りをはじめJAをご利用いただき、誠にありがとうございます。

JAでは日頃より年金受取口座をご指定されている方に対し感謝の気持ちとして、ささやかではございますが、お礼の品を用意させていただきました。もう皆様にハガキは届いているでしょうか？

ハガキをお持ちになり金融窓口までお越し下さい。

私どもは皆様方に親しまれ愛されるJAとして今後も引き続き努力を重ねてまいりますので、どうぞ末永くお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

なお、**引換期限は平成30年11月30日（金）まで**とさせていただきます。

平成30年9月吉日
忠類農業協同組合
代表理事組合長 蛭原 一治



土作りのための土壌診断サンプル採取方法と有機物施用の効果

収穫が終わった時期は、土壌診断用の土壌サンプルを採取できる貴重な時期です。また、次の作付に向けて、「土づくり」を行う時期でもありません。たい肥、緑肥を積極的に施用しましょう。

1 土壌診断用サンプル採取の注意点

①時期

土壌診断を正確に行うため、土壌サンプルの採取は、施肥の影響が最も少ない収穫後のほ場で行います。

②採取地点・方法

広いほ場の中で少量のサンプルを取る場合、正確な土壌診断が行えないことがあります。

ほ場の複数地点で土壌サンプルを採取、混合することで、ほ場内の土壌成分のバラツキを平均化できます。5地点で土壌を採取(対角線採土法)、混合し、1kg程度のサンプルとします(図1)。

採取する際は、畑地の場合表土2〜

3cmを取り除き、その下約10〜30cmの作土深の土壌を採取します。

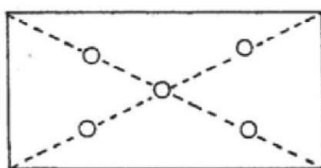


図1 対角線採土法の採土位置

2 有機物の施用効果

たい肥、緑肥がもたらす土壌環境改善の効果は非常に大きいものです。

①銅、亜鉛、マンガン等の微量元素が供給されます。

②腐植が増え、養分保持容量が高まり、養分の流亡を防ぎます。

③腐植は土の粒子をまとめる役割があり、団粒を形成します。これにより、保水性、透水性、通気性を向上させます。

④微生物の活性が高まり、数や種類が増えます。微生物同士が干渉し合い、

病原菌は増殖が抑えられます。

緑肥の中には、土壌改良剤として、特異的な効果をもたらすものもあります(表1)。

表1 緑肥作物と後作物との組み合わせ適性

	緑肥作物	適する後作物	緑肥の主な効果
後作緑肥	えん麦野生種	大豆	根粒菌着生促進、ネグサレセンチュウの発生抑制、菌根菌感染の促進
	ひまわり マメ科緑肥	とうもろこし	窒素供給 菌根菌感染の促進
	シロカラシ マメ科緑肥	てんさい	窒素供給

注1「北海道緑肥作物等栽培利用指針(改訂版)(道農政部)」より引用、一部改変

3 有機物施用に伴う施肥対応

たい肥による窒素の放出は、微生物の分解によるので肥効は数年に及びます。

例えば、たい肥の窒素肥効率を20%とした場合、たい肥中の全窒素の20%は、すき込み後1年目で肥効が期待され、残りの80%の窒素分はゆっくりと土壌に放出されるため、2年目以降にも肥効が及びます(表2)。

表2 たい肥類の肥料換算係数と減肥可能量(露地作物)

	乾物率 (%)	たい肥成分量:A (kg/現物t)			肥効率:B (化学肥料=1.0)			減肥可能量:A×B (kg/現物t)		
		全窒素	リン酸	カリ	全窒素	リン酸	カリ	全窒素	リン酸	カリ
たい肥	30	5.0	5.0	4.0	0.2	0.6	1.0	1.0	3.0	4.0
単年〜連用4年まで								2.0	3.0	4.0
連用5〜9年								3.0	3.0	4.0
連用10年以上										

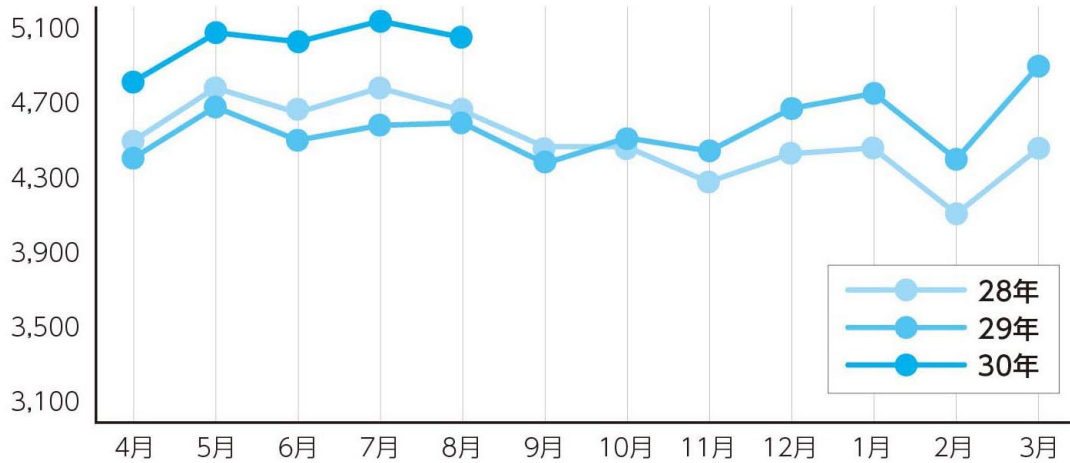
注1 「北海道施肥ガイド2015(道農政部)」より引用、一部改変。

注2 ここでのたい肥は牛ふん麦稈たい肥であり、材料の種類などにより減肥可能量は変動します。

注3 秋施用は窒素の溶脱を避けるため10月中旬以降に行い、散布後耕起することが望ましいです。



生乳生産状況表



ホクレン十勝家畜市場だより



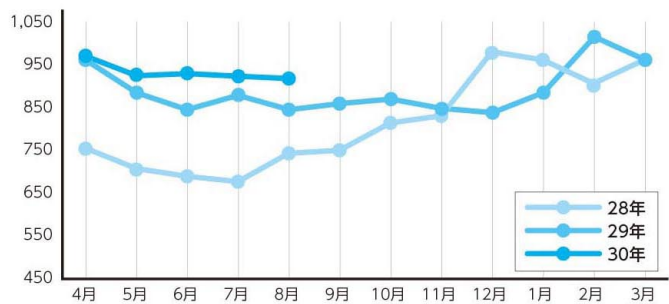
乳牛

- 売買頭数 : 544頭 (成立84.3%)
- 平均価格 (税込) : 912千円 (先月比↓6、前年比↑76)

相場予想

先月の平均価格は、暑熱事故への警戒感があるものの、府県の購買意欲が高かったため、ほぼ横ばいで推移しました。今月は、秋分娩の上場となるため、平均価格は横ばいあるいは強含みで推移すると考えられます。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



黒毛和種・F1

結果速報

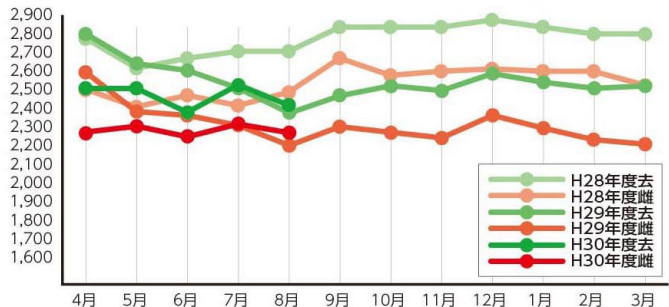
● 売買頭数

- 黒毛和種去勢 **971頭** (成立92.7%)
- 乳用交雑種去勢 **1,507頭** (成立95.8%)
- 黒毛和種雌 **726頭** (成立94.5%)
- 乳用交雑種雌 **1,433頭** (成立98.3%)

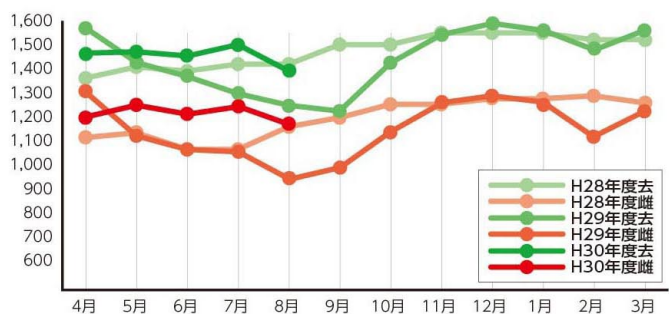
● kg単価

- 黒毛和種去勢 **2,423円** (先月比 ↓102)
- 乳用交雑種去勢 **1,403円** (先月比 ↓88)
- 黒毛和種雌 **2,280円** (先月比 ↓47)
- 乳用交雑種雌 **1,189円** (先月比 ↓56)

肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



肉牛市場〈F1〉kg単価推移



マナー・マーク・保険

農作業安全「MMH」運動に みんなで取り組もう

M

マナー

トラクター等運転は、 交通ルールと運転マナーを遵守しよう

- 運転には、道路走行に必要な運転免許、作業に必要な受講証・免許を取得し、交通ルールを守り安全運転に努めましょう。
- トラクター等農耕作業用自動車の道路走行時には、一般自動車と路上で共存を図るために、保安装備を的確に付け、道をゆずる・迂回路を使う・使用道路時間帯に配慮する等、一般交通の妨げにならないよう心掛けてください。また、道を汚さない等の運転マナーも遵守しましょう。



M

マーク

点検・整備の励行と低速車マーク・ 反射テープ等の装着をしよう

- トラクター等農耕作業用自動車は、自動車検査制度(車検)の義務が免除されましたが、整備不良は重大な事故を招く恐れがあるので、自主的な点検・整備を励行しましょう。
- 一般の自動車との速度差が大きくて追突事故につながる恐れがあるので、低速車マークや反射テープ等を貼付けましょう。また、保安灯火等の装着等によって、後続車に早く認知され、事故が起きないように配慮してください。



H

保険

労災保険と傷害共済・自動車共済等 任意保険へ加入しよう

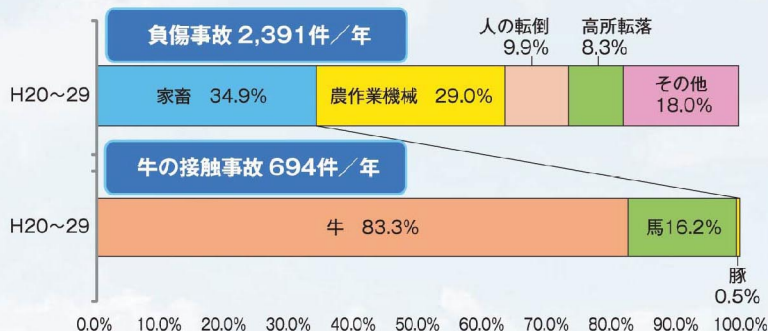
- 農作業事故・交通事故が発生すると、受傷した本人ばかりか農家経済全体に重大な影響を及ぼします。万一の場合に備えて労災保険や共済等任意保険に加入し、安心して農業経営に当たりましょう。



牛との接触による負傷事故に 気を付けよう!!

〈負傷事故の事例〉

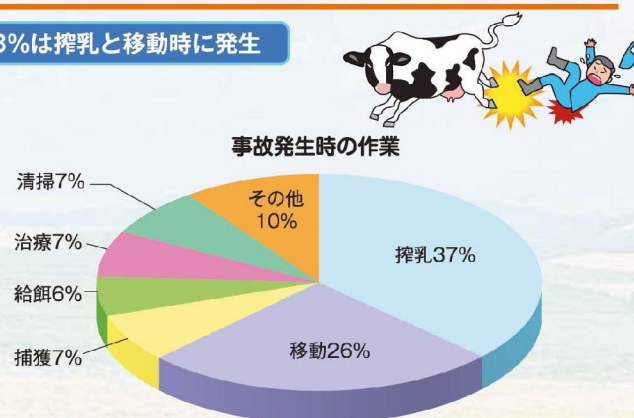
- ◆ 農作業の負傷事故は、過去10年間に23,917件発生しています。
- ◆ そのうち家畜によるものは34.9% (8,338件)となっており、中でも牛との接触による事故が83.3% (6,942件)を占めて突出しています。



〈事故の発生と原因〉

牛の事故の63%は搾乳と移動時に発生

- ◆ 事故の発生は、搾乳と移動作業中に多発しており、全体の63% (4,364件)に達しています。
- ◆ 主な事故の要因は、作業側側の牛の行動に対する不注意、危険の認識不足や牛側の牛の性格、健康状態やストレスなどの他、牛舎環境などが影響しています。



〈負傷は経営を圧迫〉

- ◆ 牛による負傷事故は、牛に蹴られる、踏まれる、挟まれる、突かれるなどの形態で発生しています。
- ◆ 事故で負ったケガの部位は、腕・手・指、足・指が3,743件で全体の52%を占めています。
- ◆ 事故が起きると、医療費や労務費等の出費がかさんで家計を圧迫します。
- ◆ また、治療期間の長期化は、家族労働への負担が大きく、作業の遅延等による農産物の品質低下や、経営規模の縮小・廃止を余儀なくされるなど、農業経営の存続に与える影響は非常に深刻です。
- ◆ 危険に気付き、危険を取り除いて、作業環境の改善と安全な行動で事故のリスクを減らしましょう。

